

第5次有田市長期総合計画・基本計画(案)に係る パブリックコメントの結果について

1. 意見の募集期間 : 令和2年12月28日(月)～令和3年1月11日(月)まで
2. 意見の提出者数 : 7名
3. 意見の内容及び意見に対する回答

	意見概要	回答(市の考え方)
①	<p>政策1-2【市立病院及び地域医療体制について】</p> <p>少子化対策のために、早急に有田市立病院産婦人科で分娩を行えるようにしていただきたいです。</p> <p>近くで出産できない不安から、妊娠活動に影響がでています。</p> <p>現状、毎週火・水曜日に市立病院へ応援医師が来ていますが、診察に時間がかかっていて、待合室に座れない、長時間待たされる等、産婦人科利用者に不安が大きいように見受けられます。</p> <p>施策事業内容①の表記を”目指す”ではなく”実現”させてください。</p>	<p>分娩再開の必要性は認識しており、関係機関との協議を重ねているところです。また、自然分娩ができる助産院の誘致にも取り組んでいます。施策・事業の内容①「周産期・小児医療体制の拡充及び質の高い医療提供体制の構築」で記載しているように、有田市で安心して出産・育児ができるよう引き続き医師の確保や環境の整備に取り組んでいきます。</p>

<p>②</p>	<p>政策1-3【高齢者福祉】、政策1-6【地域福祉】</p> <p>高齢化に伴い、組織活動（老人活動等）体制の維持が難しくなってきた様に見受けられます。</p> <p>役員など世話役の人材養成、地域協働体制の検討等を絡め、現組織運営について検討が必要かと思われます。</p> <p>また、市職員のアウトリーチ型支援も含め種々検討が必要と感じます。</p>	<p>地域福祉の推進には、老人クラブ等の地域福祉団体の役割は重要であると認識しており、現在、イベントのサポートや補助金等による支援を実施しています。政策1-3【高齢者福祉】の施策・事業の内容①「高齢者福祉の充実」に記載のとおり、今後さらに支援を推進し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めていきます。</p> <p>また、役員の高齢化や会員減少など団体の課題に対しては、政策1-6【地域福祉】の施策・事業の内容①「地域力の強化」に記載のとおり、社会福祉協議会と連携を図りながら、運営支援、人材育成に取り組みます。</p> <p>今後、地域における活動が継続していけるよう、必要な支援を展開していきます。</p>
<p>③</p>	<p>政策2-5【人権・男女共同参画】</p> <p>有田市でも外国籍の市民が増加しています。社会の少子高齢化が労働不足を招き、有田市でも農業、水産業、工業、介護等、これから外国籍の労働力に頼らざるを得ないと感じます。有田市民として受け入れ、共生して行くことが否応なく求められるのではないのでしょうか。</p>	<p>有田市に住む外国人は増えつつあり、文化・生活習慣・宗教等の違いを認め、お互いを理解することの重要性を認識しています。そのため施策に関する個別計画に記載の「有田市人権施策推進行動計画」に基づき、外国人の人権擁護と市民が多様な文化や価値観に対する理</p>

	<p>その為、特に大人そして子どもが、文化・生活慣習・宗教の違い等によるお互いの価値を理解して行く必要があると考えます。</p>	<p>解を深めることができる環境づくりに取り組んでまいります。</p>
<p>④</p>	<p>政策3-4【観光業の振興】</p> <p>・みかん海道、宮崎の鼻灯台他へハイキングに行こうと思っても、途中公衆トイレが無く、弁当持参でゆっくり歩くことに抵抗を感じます。</p> <p>みかん海道のヘリポート付近か展望台休憩所近辺に公衆トイレの設置検討いただきたい。また、観光の視点で駅近辺、公共施設等への無料Wi-Fiの設置で周遊観光を促す取り組みを検討いただきたい。</p>	<p>観光地へのトイレ設置については、来訪者や地元住民へニーズ調査を継続実施しており、今後いろいろな角度・視点から設置の可否を含め検討してまいります。</p> <p>また、基本方針に記載のとおり、市内通信環境の整備等を推進することで、Wi-Fi設備においても適した場所に設置していきたいと考えています。</p>
<p>⑤</p>	<p>政策3-4【観光業の振興】</p> <p>観光客が増加し、市内周遊や飲食をしていただける機会が増えるにつれ、ゴミのポイ捨てが心配されます。有田市の豊かな自然を守るためにも、観光地付近にゴミ箱を設置するなど、ゴミのポイ捨て対策も必要ではないかと思えます。</p> <p>また、SNSで、有田みかんを使ったスイーツが食べられるカフェや太刀魚を使った料理が食べられる飲食店といった有田市ならではのお店を紹介して、このお店に行きたいと思ってもらい、SNSをきっかけに有田市</p>	<p>観光地の景観保持のため、来訪者へごみの持ち帰り等、環境美化への協力をお願いするとともに、管理体制を整えてまいります。</p> <p>施策・事業の内容は、情報発信を意識しており、施策、事業の内容①「観光資源の開発と整備」では、周遊するコンテンツを整備することや、そこでしか体験できない観光資源の開発により有田市ならではの体験や宿泊型観光も含めた周遊プランに取り組んでいきます。そのためにもSNSを最大限活用し、有田市の魅力ある情報を発信することで、誘客力向</p>

	<p>を訪れてもらうのがよいと思います。そのSNSに載せる写真にこだわり、観光客が一目みて惹かれるような写真にすることが大切だと思います。</p> <p>みかん狩りなど、有田市ならではの自然体験ができ、太刀魚や新鮮な魚が食べられる宿泊プランやツアーで宿泊型観光が増えるよう取り組んでいただきたいです。</p>	<p>上に努めていきます。</p>
<p>⑥</p>	<p>政策3-5【移住・定住の促進】</p> <p>移住推進空き家活用事業費補助金などの支援制度を市内在住の新婚や子育て世帯などにも対象を拡げることで県外・市外への人口流出を抑制できるのではと考えます。</p> <p>小さい子どもを持つ子育て世帯では、アパートやマンションだと騒音を気にする声もあるので、空き家の一軒家にも一定の需要があると思います。</p>	<p>有田市では現在、県外からの移住者に対し、移住推進空き家活用事業費補助金等の制度を展開しています。今後は、対象者を県外在住者から市外在住者に拡充する等、「施策・事業の内容」に記載のとおり取り組むことで市外からの移住促進、また、人口流出の抑制につながると考えています。今後も引き続き、子育て世帯を含めた人口の流入・流出状況を分析した上で、適切な支援を展開してまいります。</p>
<p>⑦</p>	<p>政策4-1【危機管理】</p> <p>現在、新型コロナウイルスが猛烈な勢いで感染拡大しています。</p> <p>もしこういった状況が続いているなかで台風や地震などの自然災害で市民の方々が避難所生活をしなければならない場合、災害への恐怖、さらに感染拡大の不安につながります。</p>	<p>コロナ禍での災害時の避難者受け入れは、過密状態になることを防ぐために、これまでよりも多くの避難場所が必要となります。</p> <p>施策・事業の内容①「危機管理体制の整備」に施設整備や新たな感染症等にも迅速に対応できるよう、危機管理体制を強化すると記載して</p>

	<p>市としても、コロナウイルス対策もしなければなりません。対策の一つとして密を避けるため、避難所を増やす計画を考えていただきたいと思います。</p>	<p>おり、避難所についての対策を考えていきます。</p> <p>現在、避難場所として指定する施設については、施設管理者の協力を得ながら、これまで災害時では使用していなかった部屋の活用を検討しています。さらに、民間施設の活用も想定し、市内の宿泊施設に災害時の避難者受け入れの協力を求めていき、併せて、市民の皆様には、市が設ける避難場所に避難するだけでなく、安全な自宅に留まる在宅避難や安全な親戚宅や知人宅へ避難する分散避難などの避難方法を周知していきます。</p>
<p>⑧</p>	<p>政策4-4【暮らしやすいまちの整備】</p> <p>道路環境、住環境に対する市民の満足度が著しく低いことが気になります。道路環境に関しては、どういったところが満足度を下げているのか把握できていませんが、有田市を通る42号線の通通勤時間帯の混雑が特に満足度を下げているのではないかと思います。現在、事業中である有田海南道路や有田湯浅道路が開通することで混雑は緩和されると思いますが、新設される道路への取り付け道路(市道)の整備を市民の意見も取り入れて優先順位を定め、整備をする必要があると思います。</p> <p>住環境に関しては、住宅の耐震性、住宅に隣接する空き家の倒壊な</p>	<p>道路環境の整備に関しましては、施策・事業の内容②「安全な道路環境の整備促進」の事業内容の一部を「市内の道路整備として、防災面での整備や通学路の新設といった歩道整備等、また、土地利用状況や市全体の社会情勢を鑑みながら安全で快適に利用できる道路づくり」と改め、暮らしやすいまちの形成を目指します。</p> <p>住環境の整備に関しましては、施策・事業の内容①「良好な住環境の整備促進」に記載のとおり住宅リフォーム工事費補助事業、不良空家等除去補助事業等を実施し、良好な住環境の整備を促進していきます。</p>

	<p>どが気になるところです。住宅リフォームの補助、空き家の除却を促進することはとても重要であると思います。また公共施設の維持、修繕も適切に行い、災害時の避難場所として市民が安心して利用できるようにしていくこともとても重要であると思います。</p>	<p>また、公共施設につきましては、政策5-3【効率的で持続可能な財政運営】の施策に関する個別計画に記載の「公共施設等総合管理計画」に基づき適切に管理し、市民の皆様が安心して利用できるよう努めてまいります。</p>
<p>⑨</p>	<p>政策4-4【暮らしやすいまちの整備】</p> <p>有田市はスーパーや病院、コンビニがたくさんあり、JRの停車駅も市内に3駅あります。また、国道もあり、近い将来海南有田間をつなぐバイパスも整備されます。</p> <p>今も十分住みやすいですが、バイパスができることで今以上に住みやすい場所になることが予想されます。</p> <p>しかし、基本計画にも書かれていますが、有田市は空き家や空き地が年々増加しています。その空き家や空き地を整備し、分譲住宅を建設するとよいのではと考えます。有田市外の方がその分譲住宅で居住する場合、その方々に市から補助金を出すというのはどうでしょうか？また、家を建てる際のローンを市が一部負担するといったサービスがあると、それがセールスポイントとなり人が集まってくると考えます。</p> <p>また、海南や湯浅は現在、どんどん町が改善され様々な施設が増え</p>	<p>有田市の住環境については、バイパスの整備等による道路整備が進むことで、より良くなります。そんな中、人口減少が進む現在において、今後、空き家や空き地が年々増加すると予測されます。</p> <p>有田市では、活用できる空き家に関しては、空き家バンク制度を活用し、空き家所有者と利用希望者をマッチングする制度を充実させることで、空き家の活用に結び付けていきたいと考えています。また、空き地においても空き家バンクと同制度のものを立ち上げ、活用に関心を持ってほしいと考えており、政策3-5【移住・定住の促進】の「施策・事業の内容」に記載した取組を推進します。</p> <p>今後、時機を見て適切な支援に努め、空き家や空き地の解消に努めていきます。</p>

	<p>できています。ドーナツ化現象という面でもその範囲内に有田市が入るので若い方々が引っ越してきてくれると、市内が潤い、子どもも増え、少子化問題も少し改善されるのではと考えます。</p>	
<p>⑩</p>	<p>政策4-5【地域交通】</p> <p>中学校の統廃合に伴う児童の通学負担を緩和する必要もあるため、地域交通に関する市民満足度の目標値を25%よりもう少し高く設定し、より良い市民生活を地域全体で実現できればと思います。</p>	<p>有和中学校への通学負担に関しましては、政策4-4【暮らしやすいまちの整備】の施策・事業の内容②「安全な道路環境の整備促進」の事業に基づき、通学路の整備を進めるとともに、政策4-5【地域交通】の施策・事業の内容②「新しい交通システムの研究」に記載のとおり、通学に関しての支援を検討するなど、通学しやすい環境を整備していきます。また、高齢化が進む中、免許を返納した後でも移動に困ることがないように、より良い活用方法を実現し、利用促進を図り、目標の達成に向け、市民の皆様とともに支え合う地域交通に取り組んでいきます。</p>